

第10回 「やすまろさんへのメッセージ」コンテスト

創作の手引き

《これでバッチリ ^{きほん}基本のルールを^し知ろう！》
～^{たんか}そもそも^{なに}短歌^なって何？～

短歌とは、和歌の種類の一つで「五・七・五・七・七」の合計31音で成り立つ歌のことです。

【例】第2回 「やすまろさんへのメッセージ」コンテスト

小学生の部 ^{さいゆうしゅうしょうさくひん}最優秀賞作品 6年生の作品

大とんど 炎きらめく 多の町 願い届くよ やすまろさんに

「おおとんど (五) ほのおきらめく (七) おおのまち (五)

ねがいとどくよ (七) やすまろさんに (七)」

☆ ^{たんか}短歌の^{もじすう}文字数の^{かぞ}数え方^{かた}

●数え方は文字数ではなく音数で数えます。

例えば「空」は漢字1文字ですが、音数は「そら」の2音です。ひらがなに直して数えましょう。

●数え方で気を付けること

☆促音（「っ」など）は1音

小さい「っ」は1音と数えます。例えば「立った」は3音です。

「どこをほっても」なら7音です。

☆拗音（「ゃ」「ゅ」「ょ」）は数えません。

「ちゅうい」のように小さい「ゅ」がある時は「ちゅ」で1音。なので「ちゅ う い」は3音です。

☆「ノート」のように伸ばす音がある時は、ひらがなに直してみると「のおと」になるので「ノート」は3音です。伸ばす音は1音と数えます。

☆ では、^{れんしゅう}練習してみましよう。

次の入選作品の音数を数えてみましょう。（答えは3ページ最後）

【例】第5回 「やすまろさんへのメッセージ」コンテスト

小学生の部 ^{かさく}佳作 5年生の作品

ぼくの夢 風といっしょに のっていけ 目指すところは サムライブルー

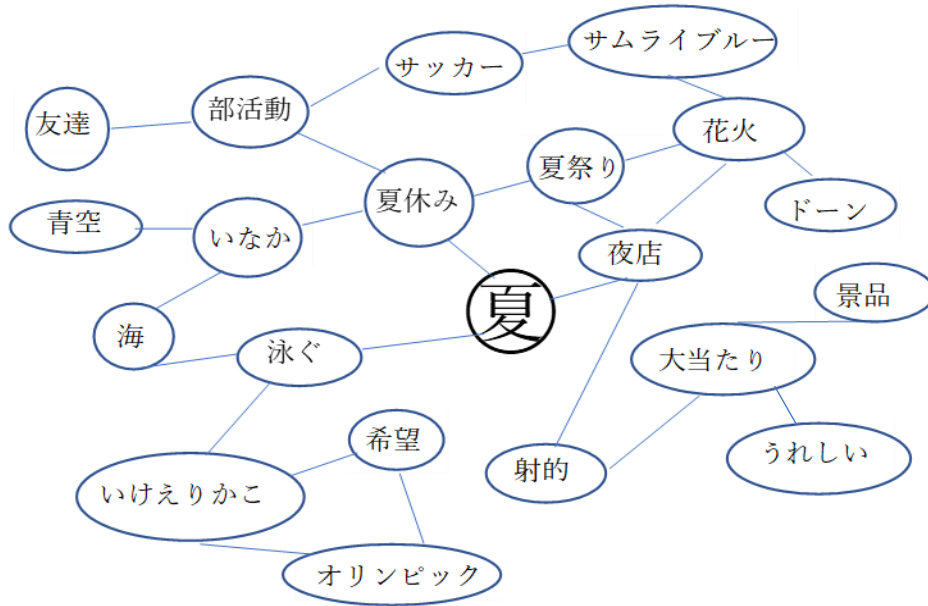
「ぼくのゆめ（ 音）かぜといっしょに（ 音）のっていけ（ 音）

めざすところは（ 音）サムライブルー（ 音）」

第10回 「やすまるさんへのメッセージ」コンテスト

☆ さあ、^{たんかづく}短歌作りを^{はじ}始めてみましょう。

- ① 生活の中^{せいかつ}のさまざまな^{なか}場面^{ばめん}で「あっ」「おや？」と心^{こころ}が動いた^{うご}とき、なんだか^{たの}楽しくなるときや、わくわくするとき、^{かな}悲しい^{おも}思いをするときなどきつとあるでしょう。そのときの様子^{ようす}や気持ち^{きもち}を細かく^{こまか}思い出^{おも}い出してテーマ^{てま}に沿って^ま作り^{つく}ましょう。下の図^{しな}のように^ず関連^{かんれん}することばを^{おも}いづくま書き^か出してつないで^つみてもいいでしょう。



- ② ベースとなる^{みじか}短い^{ぶん}文^{ぶん}を作^{つく}ってみましょう。

例 夜店^{よみせ}の射的^{しやてき}。神様^{かみさま}に祈^{いの}りながら最後^{さいご}の一発^{いっぱつ}を撃^うつと、花火^{はなび}が開^{ひら}くと同時^{どうじ}に大当^{おおあ}たりになった。

- ③ ②の文を、五・七・五・七・七に^{ちか}近づ^{ちか}けよう。

例 夏祭り^{なつまつ} 射的^{しやてき}の神^{かみ}に 祈^{いの}ったら 大当^{おおあ}たりが 花火^{はなび}と重^{かさ}なる

- ④ リズムを^{ととの}整^{ととの}え、ことばを^{ととの}まとめて^{まと}みました。できあ^{でき}が^あったのが・・・

例 どーんパン 花火^{はなび}が照^てらす 大当^{おおあ}たり 女神^{めがみ}がよんだ 最後^{さいご}のコルク

例 わが指^{ゆび}に 射的^{しやてき}の神^{かみ}は 舞^まい降^おりぬ 花火^{はなび}と咲^さいた 大当^{おおあ}たりかな

《①～④ 正進社 新・国語の便覧を参考に作成》

第10回 「やすまろさんへのメッセージ」コンテスト

☆ 比べてみましょう。

A ウフフフ 最後のひとつ あーおいし お風呂上りに ガツンとみかん

B たのしみは 最後のひとつ ウフフフ お風呂上りに ガツンとみかん

⑤ うれしい おいしい 悲しい といったことばを使わずにその気持ちがわかるように表現する工夫を考えましょう。Aで「あーおいし」と言わずに表現するともっとよくなりますね。あなたならどんなことばに変えるかな。また、ありふれたことばでなくあなたの個性がキラッと光ることばを探しましょう。

⑥ 「なんとなくしっくりこない」、「5音や7音にぴったりおさまらない」・・・

そんな時、ことばを変えてみましょう

- ・「さくら咲いて」は6音ですが「さくら咲き」とすると5音に
- ・「はなやか」は「はなやかな」や「はなやかに」とすると5音に
- ・「いろとりどり」は「いろとりどりの」や「いろとりどりに」で7音に
- ・「父」は2音ですが「父さん」は4音、「お父さん」は5音

次の○にことばを入れて変えてみましょう。(答えはこのページ最後)

ア 思う→○える イ しかし→○のになのに ウ すごい→○のしい

エ 駆け出す→○出す オ 寝る→○になる

☆ 中学生の作品例

例 出るかもね 同級生が アスリート 期待ふくらむ 東京五輪

第27回東洋大学「現代学生百人一首」入選作品より

答え

1 ページ ☆では、練習してみましょう。

5 7 5 7 7

3 ページ ☆比べてみましょう。

⑥ア(考)える イ(そ)れなのに ウ(す)ばらしい

エ(走)り出す オ(横)になる